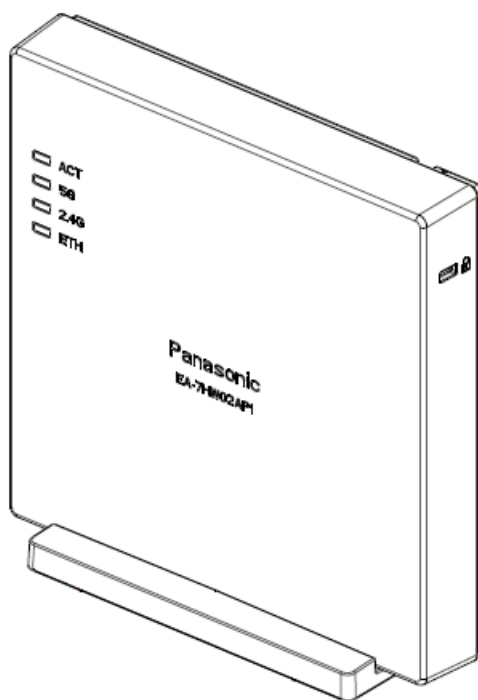


Panasonic[®]

取扱説明書（工事編） 業務用 Wi-Fi 基地局 Wireless LAN Access Point

品番 EA-7HW02AP1



工事説明付き

技術基準適合認証品

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書（工事編）をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（4～6 ページ）を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

はじめに

取扱説明書（工事編）（以下、本書という）は、業務用 Wi-Fi 基地局（以下、本装置という）を利用される方が、正しく、安全に設置を行えることを目的として書かれています。

本装置を取り扱う前に本書をよく読み、書かれている指示や注意を十分に理解してください。また、本書は必要なときにすぐ参照できるよう使いやすい場所に保管してください。

■ 取扱説明書は以下の 3 種類です。

- ・ 「お使いになる前に」 …… 安全上のご注意などを記載しています。
- ・ 「取扱説明書（工事編）」 …… 本装置の設置方法などを記載しています。
- ・ 「取扱説明書（設定編）」 …… 本装置の操作や設定方法などを記載しています。

■ 商標について

- ・ Wi-Fi およびロゴマークは、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- ・ イーサネット/Ethernet は、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- ・ Microsoft とそのロゴ、Windows とそのロゴは米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ その他、本文中に記載の各会社名、各製品名は、各社の商標または、登録商標です。

■ お知らせ

- ・ Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- ・ 本書の内容については、改良のため、予告なく変更する場合があります。
- ・ 本書の中で特にことわり書きがない場合は、「本装置」、「アクセスポイント」、「AP」、「EA-7HW02AP1」は、業務用 Wi-Fi 基地局（EA-7HW02AP1）のことを示しています。
- ・ 「PoE インジェクタ」は、別売品（EA-7HW00PWR1）のことを示します。
- ・ 「PoE 給電装置」は、別売品（EA-7HW00PWR1）または市販の PoE インジェクタおよび PoE 給電スイッチングハブ等のことを示しています。

■ 免責条項

- ・ 本装置の故障、誤動作、不具合、あるいは停電時の外部要因によって通話、録音等の機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 地震、雷、風水害などの天災、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意、過失および誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害、および本装置の使用または使用不能から生ずる付随的な損害について、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 本装置は、医療機器、生命維持装置、航空交通管制機器、その他人命に関わる機器・装置・システムでの使用を意図しておりません。本装置をこれらの機器・装置・システムなどに使用され生じた損害について、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

もくじ



はじめに	2
安全上のご注意.....	4
装置本体と付属品.....	10
第1章 仕様.....	11
1.1 装置仕様.....	12
1.2 外観・寸法.....	13
1.3 各部名称と機能.....	17
1.4 給電方式.....	20
1.5 インターフェイス仕様.....	21
第2章 設置工事.....	22
2.1 設置と接続.....	23
2.2 装置本体の設置場所決定.....	24
2.3 装置本体の取り付け工事.....	25
2.4 各部の接続.....	27
2.5 初期化.....	29
第3章 設定方法.....	30
3.1 Web コンソール用パソコンの設定.....	31
第4章 障害発生時の対処方法.....	35
4.1 障害発生時の対処方法.....	36
4.2 セルフテストによるアラーム表示.....	37
オプション品（別売品）.....	38
保証とアフターサービス.....	39

安全上のご注意



必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。




■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

警告

 ぬれ手禁止	■ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない 感電の原因になります。
 分解禁止	■分解・改造をしない 火災や感電の原因になります。
 禁止	■ブレーカや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外の電圧での使用はしない 定格を超えると、発熱による火災の原因になります。
	■自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くには設置しない アクセスポイントからの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。
	■医療機器の近くには設置しない アクセスポイントからの電波が医療機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。


警告





禁止

- 電源コード・プラグ・ACアダプタ本体を破損するようなことはしない
(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる など)
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
●コードやプラグやACアダプタの修理は、お買い上げの販売会社・販売店・サービス実施会社へご相談ください。
- アクセスポイント・ACアダプタ本体を水につけたり、水をかけたり、ぬらしたりしない
ショートにより、火災や感電の原因になります。
- 塩害や腐食性ガスの発生する場所に設置しない
取り付け部が劣化して、落下など事故の原因になります。
- 荷重に耐えられない場所や不安定な場所には設置しない
落下など事故の原因になります。
- 雷が発生したときは、アクセスポイント・電源プラグ・電源コード・ACアダプタ本体・接続したケーブル類に触れない
感電の原因になります。
- 電源を入れたまま配線工事をしない
感電の原因になります。
- 使用を終了した装置は、放置しない
そのまま放置しておくと、落下など事故の原因になります。
- 指定のACアダプタ以外は使用しない
指定以外のものを使用すると、火災・感電の原因になります。
- 同梱された電源コードは他の製品に使用しない
火災・感電の原因になります。

警告

 必ず守る	<p>■心臓ペースメーカーの装着部位から 15 cm 以上離す 電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。</p>
	<p>■煙が出たり、異常発熱したり、異臭・異音がした場合や落下・破損した場合は、電源プラグを抜き、本装置の使用を中止する そのまま使用すると火災や感電の原因になります。 ●すぐに使用を中止し、お買い上げの販売会社・販売店・サービス実施会社へご相談ください。</p>
	<p>■モルタル壁などへの取り付け時、マウンタ、ねじ等をメタルラス、ワイヤラスまたは金属板と接触しないように設置する 装置の絶縁が劣化した場合、メタルラス等に漏電し、火災の原因になります。</p>
	<p>■電源プラグは根元まで確実に差し込む 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。 ●傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。</p>
	<p>■電源プラグのほこり等は定期的にとる プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。 ●電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。</p>

注意

 禁止	<p>■工事中に本装置を落下させない けがの原因になることがあります。</p>
	<p>■高温になる場所に設置しない 装置内部の温度が上がり、火災や感電の原因になることがあります。</p>
	<p>■金属のエッジを手でこすらない 強くこすると、けがの原因になることがあります。</p>
 必ず守る	<p>■長時間使用しないときや、お手入れ、保守をするときは必ず電源プラグをコンセントから抜く 漏電・感電の原因になることがあります。</p>
	<p>■設置をするときは指定の固定方法で取り付けをする 正しく設置を行わないと、ゆるみやはずれで落下し、事故の原因になることがあります。 ●設置方法については、必ず本書をお読みください。</p>
	<p>■コンセントへの抜き差しは電源プラグを持って行う 電源コードを引っ張ると、コードが破損し、感電、ショートや火災の原因になることがあります。</p>

■ 使用上のお願い

- 設置工事業者以外は取り付け工事を行わないでください。
正しく設置を行わないと、ゆるみやはずれで落下し、事故の原因になります。
- お手入れをするときは、電源を切った状態で行ってください。機器は、乾いた柔らかい布でふいてください。
汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、固く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
- お手入れにアルコール、石油、シンナー、ベンジン、熱湯、みがき粉、粉せっけん、ワックスは使わないでください。
化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書きに従ってください。
- 暖房設備、ボイラーなどの、特に温度の上がる場所に置かないでください。
機器表面や部品が変形・劣化するほか、故障の原因になります。
- 火気を近づけないでください。
機器表面や部品が変形・劣化するほか、故障の原因になります。
- 硫化水素、リン、アンモニア、硫黄、炭素、酸、塵埃、その他有毒ガスなどの発生する場所に置かないでください。
故障や機器の寿命が短くなる原因になります。
- 電磁波発生源や磁気を帯びたもののある場所に置かないでください。
（高周波ミシン・電気溶接機・磁石など）
雑音の発生や故障の原因になります。
- 機器に強い衝撃や振動を与えないでください。
落としたりぶついたりして強い衝撃が加わると、故障や破損の原因になります。
- 廃棄時は、産業廃棄物として適切に処理してください。

■ 電波に関する留意点

本装置は、電波法に基づく無線設備（2.4 GHz 帯高度化小電力データ通信システムおよび 5 GHz 帯小電力データ通信システム）の技術基準への適合が証明されています。従って、本装置を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本装置は日本国内のみで使用できます。

本装置は、技術基準の適合が証明されておりますので、以下の事項を行うと法律により罰せられることがあります。

- ・ 本装置を分解／改造すること（周波数、アンテナの変更をしてはいけない）
- ・ 本装置の裏面に貼ってある認証ラベルをはがすこと

5 GHz 帯（IEEE802.11a/n/ac）は電波法により屋外で使用可能な周波数が制限されています。

- ・ 5 GHz 帯（IEEE802.11 a/n/ac）の対応チャンネルは、36 ch～48 ch（W52）、52 ch～64 ch（W53）、100 ch～140 ch（W56）です。
- ・ W52 および W53 は屋内使用限定です。W56 は屋外でも使用可能です。屋外使用時には、W52 と W53 を選択しないように設定を行ってください。
- ・ W53 および W56 に対応するため、電波制御機能 DFS、TPC が使用されています。
- ・ 2005 年 5 月省令改定以前のチャンネル（J52）を使用した無線 LAN 機器とは、チャンネルが一致しないために通信を行うことができません。

2.4 GHz 帯（IEEE802.11b/g/n）の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- ・ 本装置を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・ 万一、本装置から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用周波数を変更して、電波干渉をしないようにしてください。
- ・ 本装置を 2.4 GHz 帯で運用する場合、干渉低減や周波数利用効率向上のため、チャンネル設定として CH1、CH6、CH11 のいずれかにすることを推奨します。
- ・ その他、本装置から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、ご購入になった販売窓口までご連絡ください。

使用周波数帯域：2.4 GHz

変調方式：DS-SS 方式／OFDM 方式

想定干渉距離：40 m 以下

周波数変更の可否：全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能

本装置には、これを示す下図のマークが貼付されます。



■ 無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティーに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と本装置間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

- ・ 悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される

- ・ 悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- ・ 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- ・ 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- ・ コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや本装置は、これらの問題に対応するためのセキュリティーの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティーに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

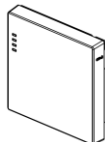
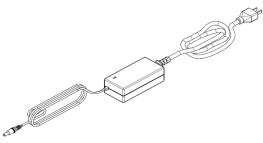
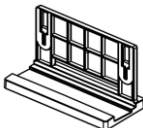
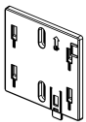

セキュリティーの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティーに関する設定を行い、併せてご使用になる環境に応じたその他対応（物理的なセキュリティーによる盗難対策や VPN 機能の利用による盗聴防止、Firewall 設置による攻撃防止など）を行ったうえで製品を使用することをお奨めします。

また、HTTP/HTTPS、telnet/ssh、snmp など、本装置を設定および監視する際に使用するプロトコルに関しても、ご使用になられる環境に応じて設定することをお勧めします（使用されないプロトコルは未使用にされることをお勧めします。）

装置本体と付属品

お買い上げいただいたとき、梱包箱には装置本体と次の付属品が入っています。
梱包箱をお開けになりましたら、必ずご確認ください。

◆ 本体および付属品

品名	イラスト	員数	備考
本体		1	
ACアダプタ		1	
電源コード		1	
スタンド		1	
マウンタ		1	
お使いになる前に		1	

お願い

1) 設置工事を行うには上記の他に次のものがが必要です。製品には同梱されていませんので、別途ご用意ください。

- Ethernet ケーブル (カテゴリ 5e 以上、両端 RJ-45 モジュラープラグ付き)
- 壁面への取り付け時にはM4 ネジが必要です。

2) 本装置 (EA-7HW02AP1) は防水タイプ (JIS C 0920 保護等級 2 防滴 II 形) です。直接噴流や浸水は避けるよう施工願います。また、水に濡れる場所に設置する場合は通気孔からの浸水を防ぐために、必ず製品を縦方向にして LED が左側になるよう取り付けしてください。(水平方向や上記以外の縦方向での取り付けをしないでください)

第二世代小電力データ通信システムの無線局を屋外固定局として運用するにあたっては、当該無線局の所有者名又は事業社名と連絡先を表示する必要があります。以下に表示内容を記します。

- 無線局の表示：2.4 GHz 帯小電力データ通信システムの無線局
- 所有者名又は運用業者名
- 連絡先：電話番号又は E メールアドレス、もしくはホームページアドレスなど
- その他、電波干渉回避に有用な情報など

表示方法としてはシール、銘板、印刷、手書きなどで、無線装置本体、あるいは収容ケースなどの、特別な操作を必要とせずに確認できる場所に表示してください。

第 1 章 仕様

本装置の仕様について、説明します。

1.1 装置仕様

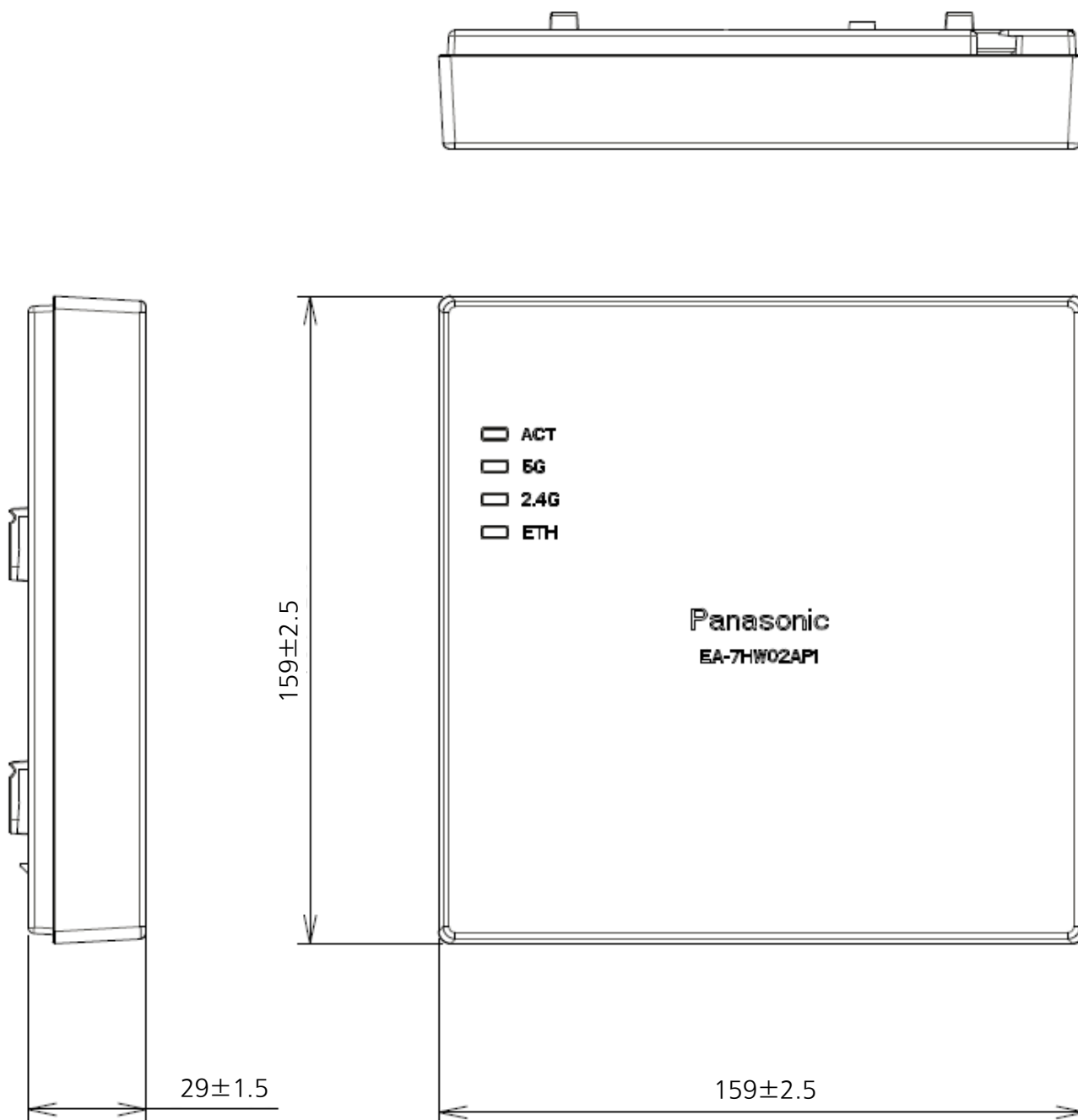
◆ 業務用 Wi-Fi 基地局

項目		EA-7HW02AP1
外部インターフェース	無線	IEEE802.11 b/g/n、IEEE802.11a/n/ac (同時利用可)
	有線	10/100/1000BASE-T 1ポート
周波数	2.4 GHz	1ch~13ch
	5 GHz	W52、W53、W56 (省令により、屋外でのW52、W53の利用は禁止されています)
送信電力		2.4 GHz : 21 dBm / 5 GHz : 18 dBm (W52/53)、21 dBm (W56)
アンテナ		板状逆Fアンテナ
アンテナ利得		2.4 GHz : 4 dBi / 5 GHz : 5 dBi 以下
無線 LAN 機能		マルチSSID(16)、WEP/WPA/WPA2(Personal/Enterprise)、MAC認証/Web認証、WMM
ネットワーク機能		L2ブリッジ、L2/L3/L4フィルタリング、PPPoE、L2TPv3、IPsec
保守機能		Telnet、SSH、Web、FTP、TFTP、SNMP/TRAP、NTP、syslog
電源		DC 12 V PoE (IEEE802.3af)
消費電力		12.95 W 以下
動作環境		温度 : 0 °C ~ 40 °C 湿度 : 5 % ~ 95 % (結露なきこと)
防水・防塵		IP42 (背面を除く)
外形寸法 (公差、突起含まず) / 質量		W159 mm × H159 mm × D29 mm / 約 360 g

1.2 外観・寸法 (製品の仕様は予告なく変更することがあります)

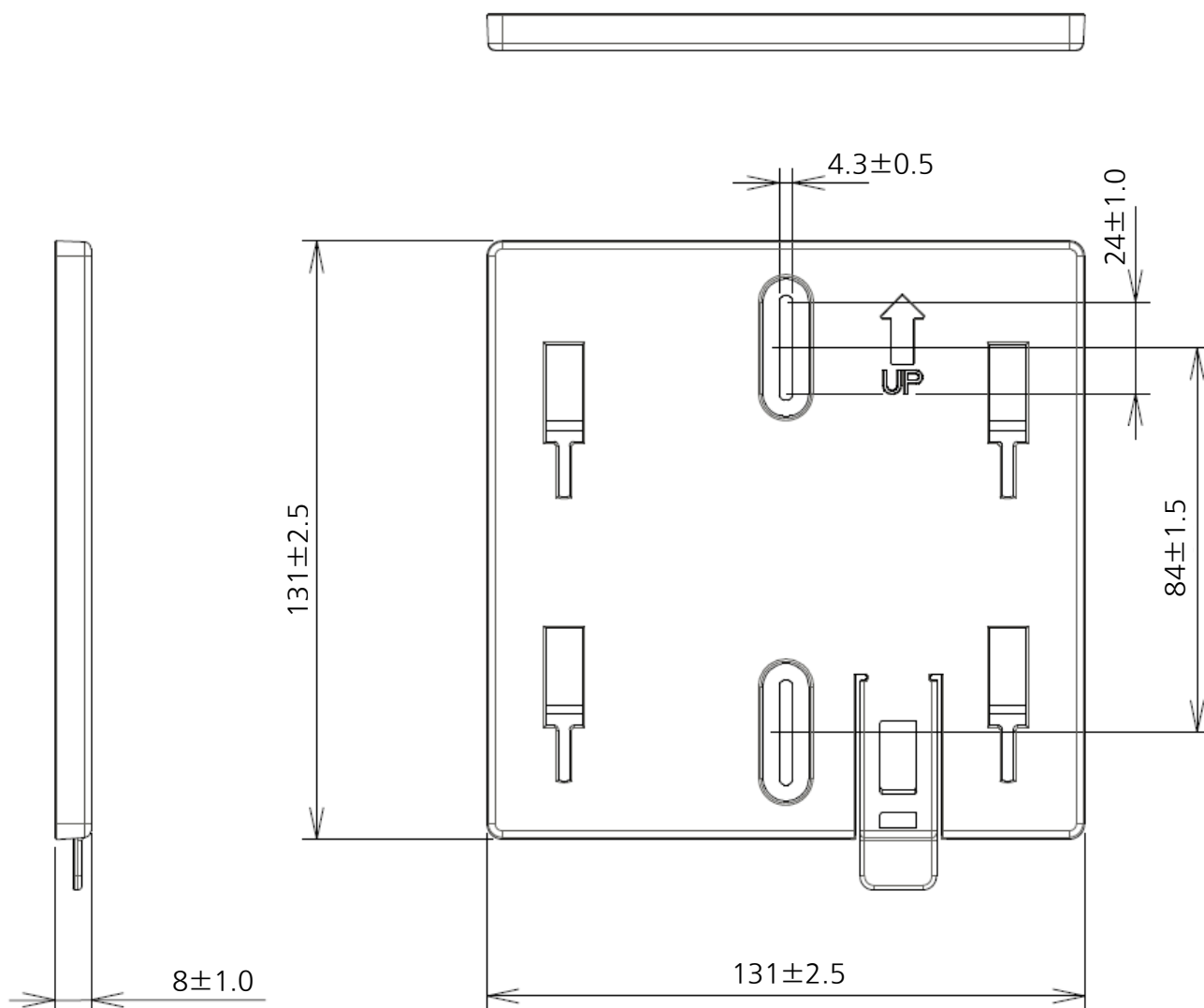
■ 本体 外観図

(単位 : mm)



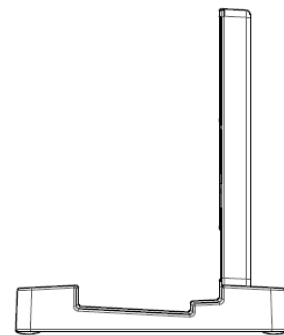
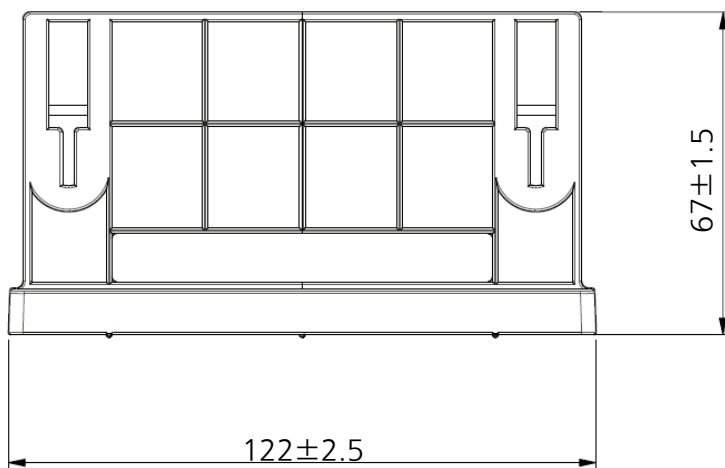
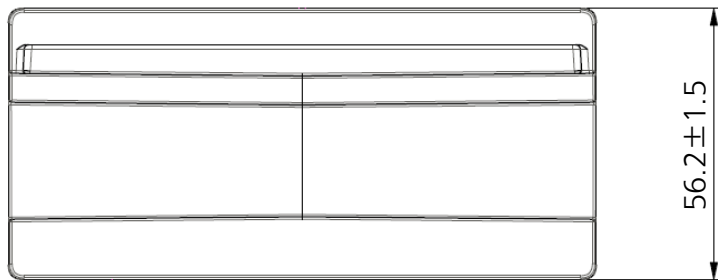
■ マウンタ 外観図

(単位 : mm)



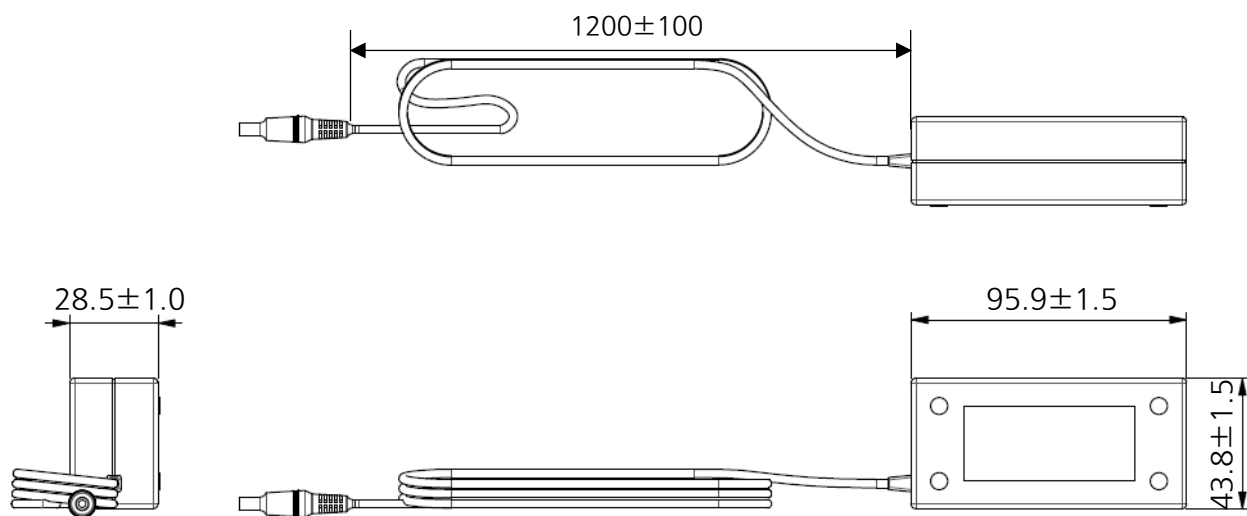
■ スタンド 外観図

(単位 : mm)



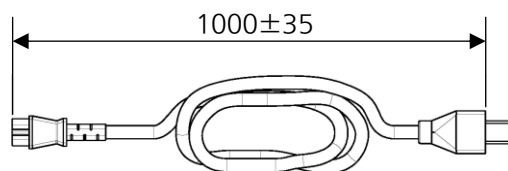
■ ACアダプタ 外観図

(単位 : mm)



■ 電源コード 外観図

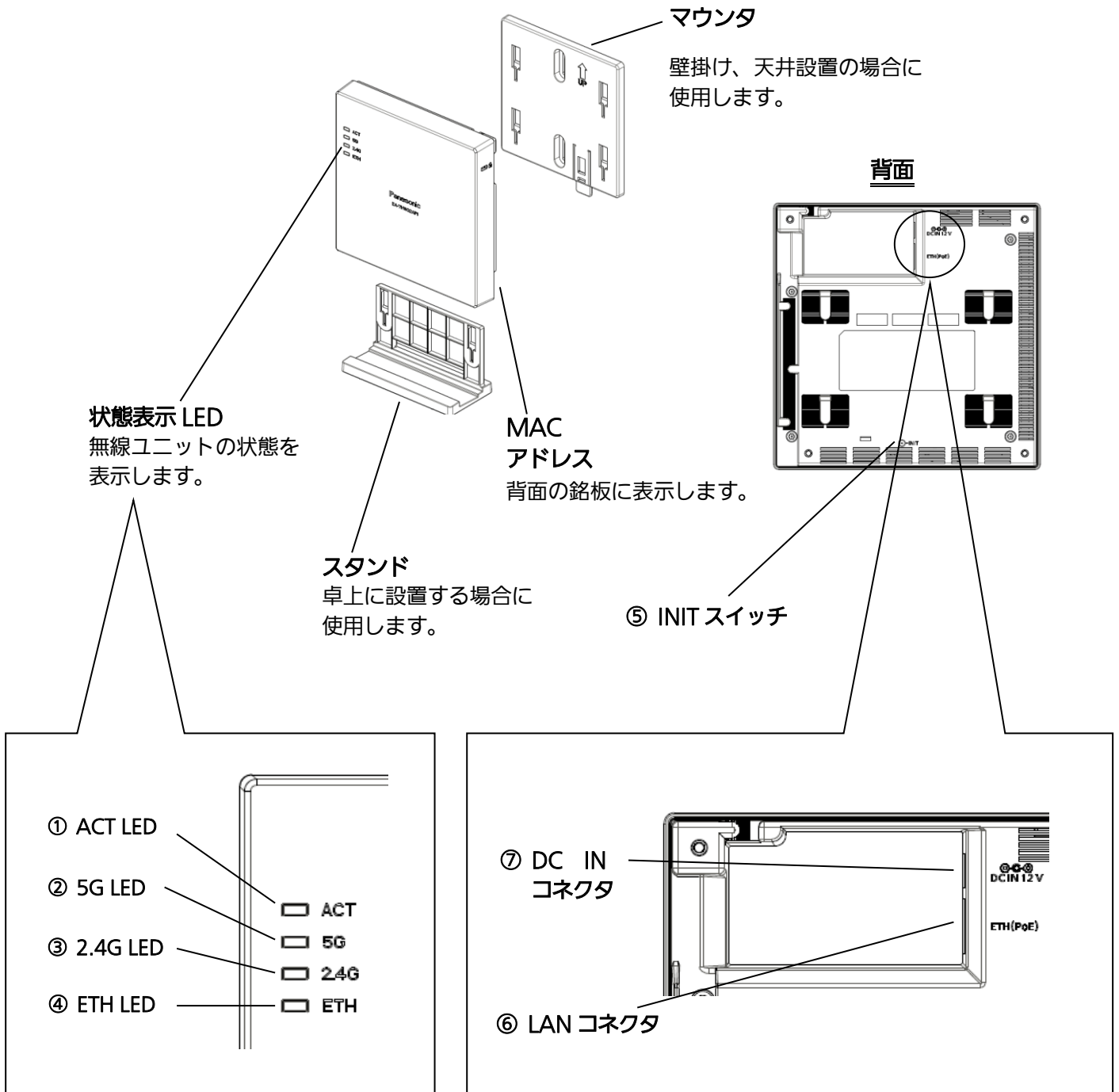
(単位 : mm)



1.3 各部名称と機能

◆ 業務用 Wi-Fi 基地局

本装置の外観、各部名称と機能について説明します。



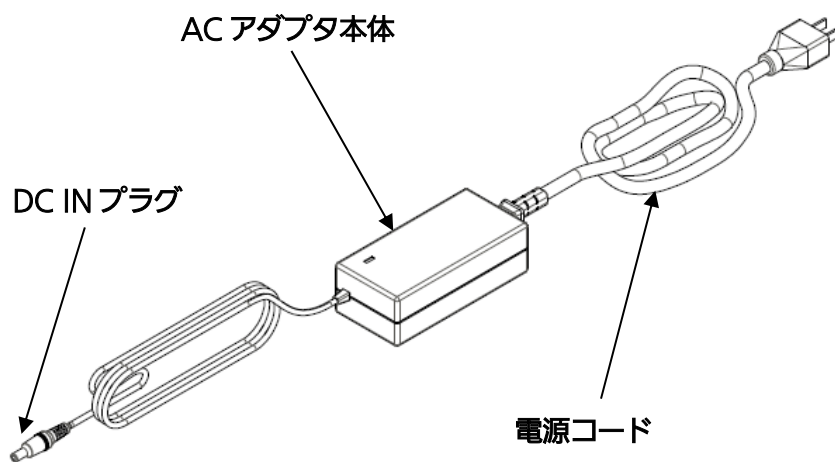
各 LED、スイッチ、コネクタに関する説明を下表に示します。

LED、スイッチ、コネクタ 一覧

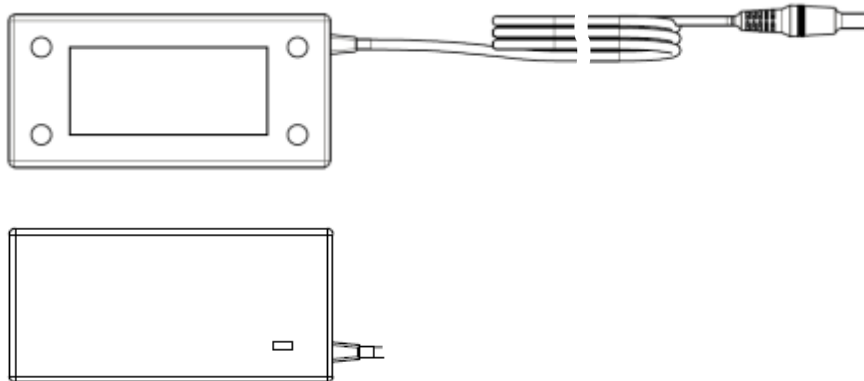
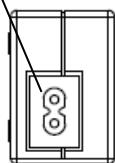
番号	名称	機能
①	ACT LED	装置の運用／障害状態を示します。
		赤点灯 ・運用中の障害検出
		緑点灯 ・運用中
②	5G LED	無線 IF 5 GHz の状態表示
		緑点灯 ・通常運用中
		消灯 ・起動中／閉塞状態
③	2.4G LED	無線 IF 2.4 GHz の状態表示
		緑点灯 ・通常運用中
		消灯 ・起動中／閉塞状態
④	ETH LED	Ethernet ポートのリンク状態を示します。
		緑点滅 ・フレーム送受信中
		緑点灯 ・リンク確立
		消灯 ・リンク断
⑤	INIT スイッチ (プッシュスイッチ)	構成データ、ログデータを初期化します。
⑥	LAN コネクタ (RJ-45 モジュラープラグ)	Ethernet ケーブルを接続します。
⑦	DC IN ジャック	付属の AC アダプタの DC プラグを接続します。

◆ ACアダプタ (付属品)

ACコンセントに接続し、無線ユニットに対して電源供給を行います。



AC IN 端子
付属の AC 電源コードを
接続します。



1.4 給電方式

◆ 給電方式

装置本体への給電方式は以下の通りです。

給電方式一覧

アクセスポイント	選択できる給電方式
EA-7HW02AP1	<ul style="list-style-type: none">・ AC アダプタからの給電・ IEEE802.3af もしくは IEEE802.3at に準拠した PoE 給電装置からの給電

給電については、2.4.2 電源の接続を参照ください。

1.5 インターフェイス仕様

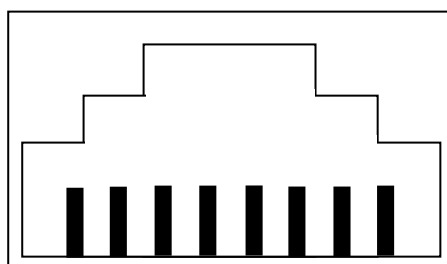
◆ Ethernet インターフェース仕様

■ インターフェース仕様

Ethernet インターフェース仕様

インターフェース	コネクタタイプ	ケーブルタイプ	伝送距離
10BASE-T/ 100BASE-TX	RJ-45	カテゴリ 5	100 m
1000BASE-T	RJ-45	エンハンスド カテゴリ 5	100 m

■ LAN (RJ-45) コネクタ



1 2 3 4 5 6 7 8

(本体側コネクタ)

LAN (RJ-45) コネクタ仕様

ピン番号	10/100Base 本装置側 (MDI)	10/100Base 本装置側 (MDI-X)	1000Base-T 本装置側 (MDI)	1000Base-T 本装置側 (MDI-X)
1	Tx+	Rx+	BI_DA+	BI_DB+
2	Tx-	Rx-	BI_DA-	BI_DB-
3	Rx+	Tx+	BI_DB+	BI_DA+
4	未使用	未使用	BI_DC+	BI_DD+
5	未使用	未使用	BI_DC-	BI_DD-
6	Rx-	Tx-	BI_DB-	BI_DA-
7	未使用	未使用	BI_DD+	BI_DC+
8	未使用	未使用	BI_DD-	BI_DC-

第 2 章 設置工事

本装置の設置方法、各インターフェースの接続方法について説明します。

2.1 設置と接続

本装置の設置と接続は、以下の手順に従って行ってください。

本装置を使用する



2.2 装置本体の設置場所決定



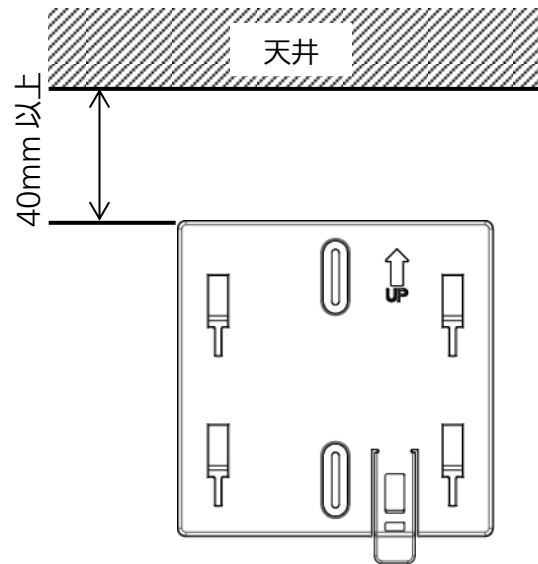
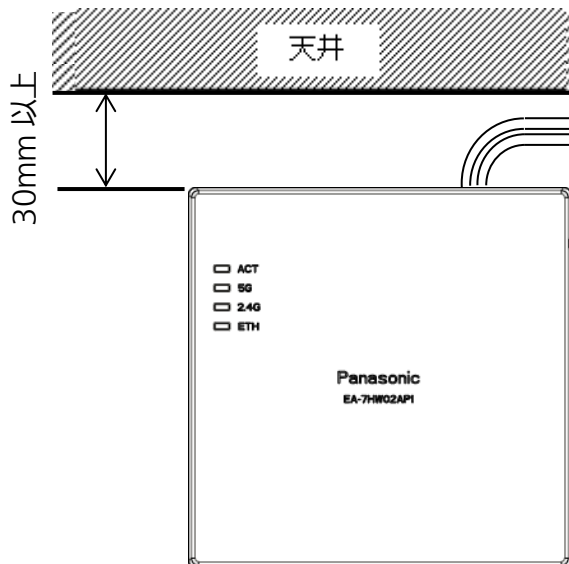
2.3 装置本体の取り付け工事



2.4 各部の接続

2.2 装置本体の設置場所決定

- 装置本体は壁面、天井、および卓上に付属のマウンタ・スタンドを用いて設置することができます。
- 装置本体の設置は製品を保持する十分な強度があり、平坦な面に行ってください。
装置本体の質量は約 360 g です。
- 装置本体は、振動等からの経年変化による緩み、倒れが生じないように、強固に設置してください。
- 装置本体の近傍に金属やコンクリートなどアンテナの性能に影響するものがない事を確認してください。
- 「安全上のご注意」「使用上のお願い」をよくお読みのうえ、設置場所を決定してください。
- 壁面設置する場合は、装置本体上側から 30 mm 以上（マウンタ上側から 40mm 以上）のスペースが必要です。（製品引掛けストーク確保のため）



2.3 装置本体の取り付け工事

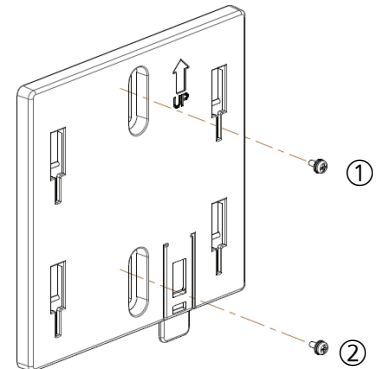
装置本体およびマウンタ・スタンドの寸法は「1.2 外観・寸法」を参照願います。

◆ 壁面設置

① マウンタの固定

設置場所が平滑なコンクリート、金属、木、モルタル等のしっかりとした面であることを確認し、マウンタを固定します。

- マウンタ上部の取り付け穴からネジ①を設置面に仮止めします。
- マウンタが平行になることを確認し、上下2本①②のネジをしっかり締付けます。
(推奨締め付けトルク : $0.85 \text{ N} \cdot \text{m} \pm 0.12 \text{ N} \cdot \text{m}$)



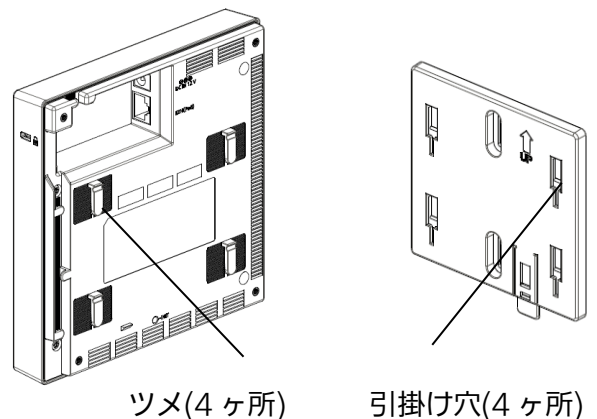
お知らせ

設置面へ固定するネジは呼び径 4 mm でトラスもしくはバインド (ネジ頭の外形は $\phi 10 \text{ mm}$ 以下) のものを使用してください。尚、本ネジは壁面の材質に合わせて工事業者様にてご準備願います。

② 装置本体の取り付け

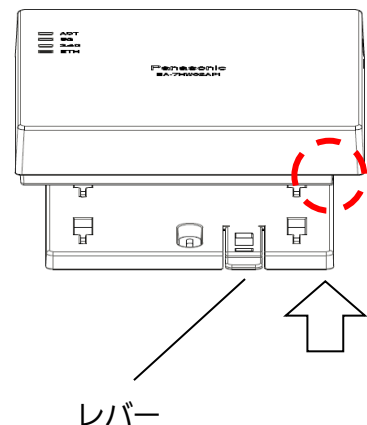
壁面に固定されたマウンタに本体を固定します。

- 本体背面のツメ (4ヶ所) を、マウンタの引掛け穴に引っ掛けます。
- マウンタの側面と本体背面の配線溝の凹みを合わせてください。



③ 「カチッ」と音がするまで本体を下にスライドさせます。

- 本体をマウンタから外すときはレバーを壁側に押しながら、本体を上にもスライドさせてください。



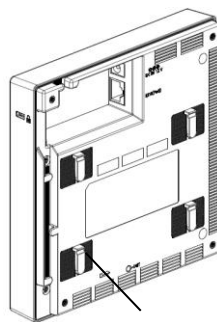
お願い

装置本体は、LEDが見えるよう設置してください。

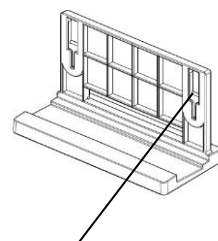
◆ 卓上設置

① 装置本体の取り付け
スタンドに本体を固定します。

- 本体背面のツメ（下部 2 ヶ所）を、
スタンドの引掛け穴に引っ掛けます。

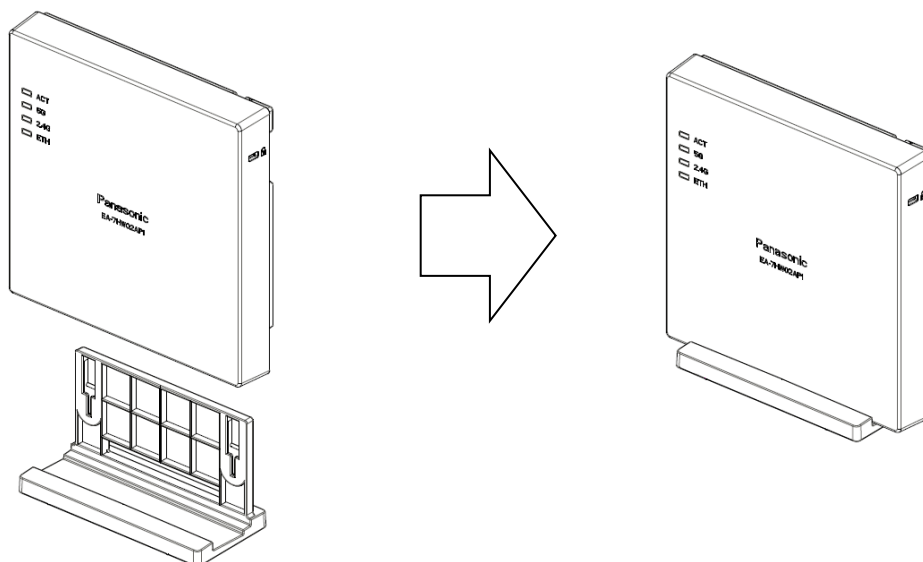


ツメ(下部 2 ヶ所)



引掛け穴(2 ヶ所)

- 本体を下にスライドさせ固定します。

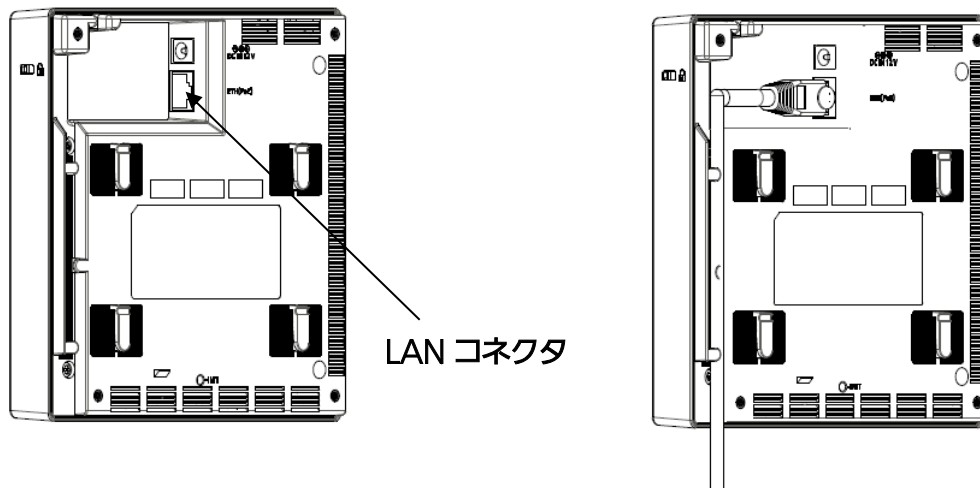


2.4 各部の接続

2.4.1 ネットワークとの接続

◆ Ethernet 接続

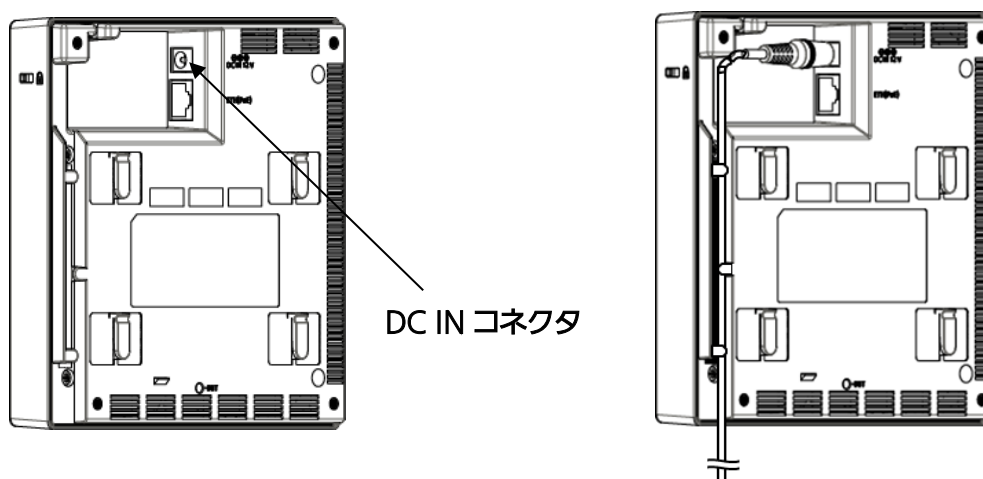
本体の外部インターフェース部にある LAN コネクタに Ethernet ケーブル（エンハンスドカテゴリ 5 以上推奨）を接続します。



2.4.2 電源の接続

◆ AC アダプタからの給電

付属の AC アダプタの DC プラグを本体の外部インターフェース部にある DC IN コネクタにしっかりと接続してください。



◆ PoE ユニットからの給電

PoE 給電は IEEE802.3af もしくは IEEE802.3at に準拠した PoE 給電装置から給電します。
この項では PoE インジェクタから給電する方法を説明します。

以下の手順で PoE インジェクタとその他のケーブルを接続してください。

※PoE ユニットからの給電には、「エンハンスドカテゴリ 5 以上」の Ethernet ケーブルを必ずご使用ください。

- ① 装置本体に接続されている Ethernet ケーブルのプラグを PoE インジェクタの「DATA & POWER OUT ポート」に「カチッ」と音がするまで差し込み、つないでください。
- ② PoE インジェクタ本体に付属の電源ケーブルを接続してください。
- ③ PoE インジェクタの電源プラグを AC100 V コンセントに差し込んでください。(POWER LED ランプが黄点灯し、その後緑点灯となります。)
- ④ 上位ネットワーク機器に接続されている Ethernet ケーブルのプラグを PoE インジェクタの「DATA IN ポート」に「カチッ」と音がするまで差し込み、つないでください。

お願い

- 本装置から上位ネットワーク機器までの配線長は合計 100 m 以下としてください。
- 接続したケーブルを引っ張るなど強い力を加えないでください。
- PoE インジェクタの上には重い物をのせないでください。
- 接続ケーブルと Ethernet ケーブル接続部は、浸水するような場所には配線しないでください。

2.5 初期化

初期化のコマンドを使わず、無線ユニットを直接初期化（設定データ、ログデータを工場出荷時の値に）することができます。

◆ INIT スイッチでの設定初期化

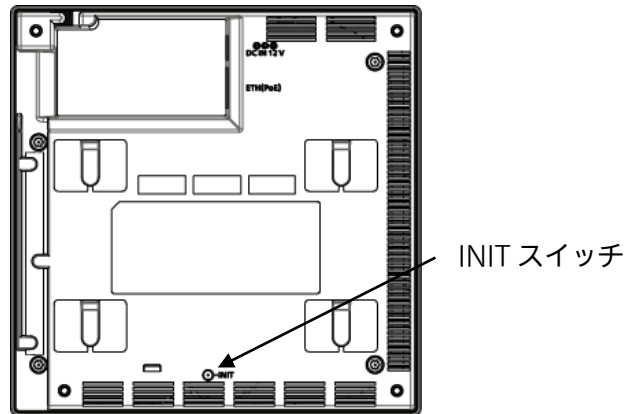


図6.5-1 背面図

- ① INIT スイッチを竹串など先端の細いもので押した状態で AC アダプタや PoE インジェクタを接続し、電源を投入してください。（投入後も INIT スイッチを押し続けてください）
※静電気を除去してから作業してください。
- ② ACT LED が赤点滅になりましたら INIT スイッチを離してください。
（電源投入から約 50 秒かかります）
- ③ ACT LED が緑点灯になりましたら初期化された状態で起動が完了します。
（電源投入から約 220 秒かかります）

初期化後の各インターフェースの初期値

インターフェイス	初期設定	備考
無線インターフェイス (2.4 GHz)	無効	インターフェイス有効設定後の初期値 1 ch、 HT40
無線インターフェイス (5 GHz)	無効	インターフェイス有効設定後の初期値 36 ch(W52)、 HT80
イーサネット (ETH)	—	初期設定 : 192.168.0.3/24

以上で、INIT スイッチの操作による初期化が完了です。

第3章 設定方法

Web コンソール用パソコンの設定方法を説明します。

3.1 Web コンソール用パソコンの設定

Web コンソールを利用する際に使用する、Web コンソール用パソコンの接続方法と本装置の設定について説明します。

Web コンソール用パソコンの推奨環境

OS および TCP/IP ソフトウェア	Microsoft® Windows® 7 Microsoft® Windows® 8.1 TCP/IP ソフトウェアは OS に付属しています。別途ご用意いただく必要はありません。
画面解像度	1024 x 768 ピクセル以上
LAN カード	本装置とパソコンを接続するために、パソコンに Ethernet ポートが必要です。LAN カードを使用する場合は、ご使用になるパソコンに装着できる LAN カードをご用意ください。
WWW ブラウザ	本装置の設定に Web コンソールを使用する際には、以下の WWW ブラウザをご用意ください。 ・ Windows® Internet Explorer 11®以上 ※複数ブラウザから同一 AP へのアクセスには対応しておりません。

◆LAN カードの準備

Web コンソール用パソコンに Ethernet ポートがあることを確認してください。Ethernet ポートがないパソコンの場合は、LAN カードを装着する必要があります。LAN カードを新規に装着した場合には、LAN カードのソフトウェア（ネットワークドライバ）のインストールが必要となります。パソコンや LAN カードに添付されたマニュアルに従って正しく設定してください。

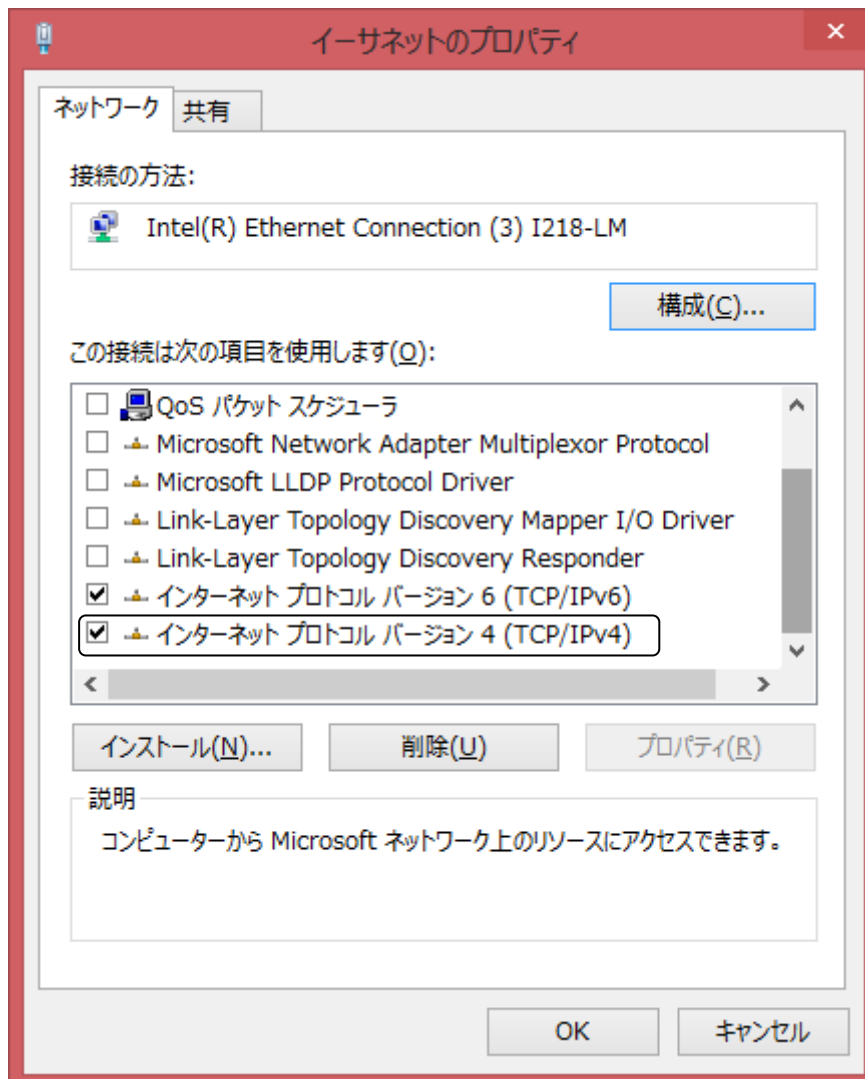
◆TCP/IP プロトコルの設定

Web コンソールを使用するには、Web コンソール用パソコンで IP アドレスおよびサブネットマスクの設定を済ませておくことが必要です。

設定の手順はパソコンの OS によって異なります。本書では、Microsoft® Windows® 8.1 を例に説明します。

パソコンの TCP/IP 設定を行います。

- 手順1 [コントロールパネル] ウィンドウを開き、[ネットワークと共有センター] をクリックします。
- 手順2 [アダプタの設定の変更] をクリックします。[ネットワーク接続] が表示されます。
- 手順3 [イーサネット] を右クリックし、表示されたリストから [プロパティ] を選択します。
[イーサネットのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。
- 手順4 一覧にインターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)が含まれていることを確認します。
一覧にインターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4) が表示されていない場合は、TCP/IP のインストールが必要です。Microsoft® Windows® 8.1 のマニュアルを参照して、インストールしてください。



イーサネットのプロパティ

- 手順5 一覧から [インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)] をクリックして選択し、
[プロパティ] ボタンをクリックします。
[インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4) のプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

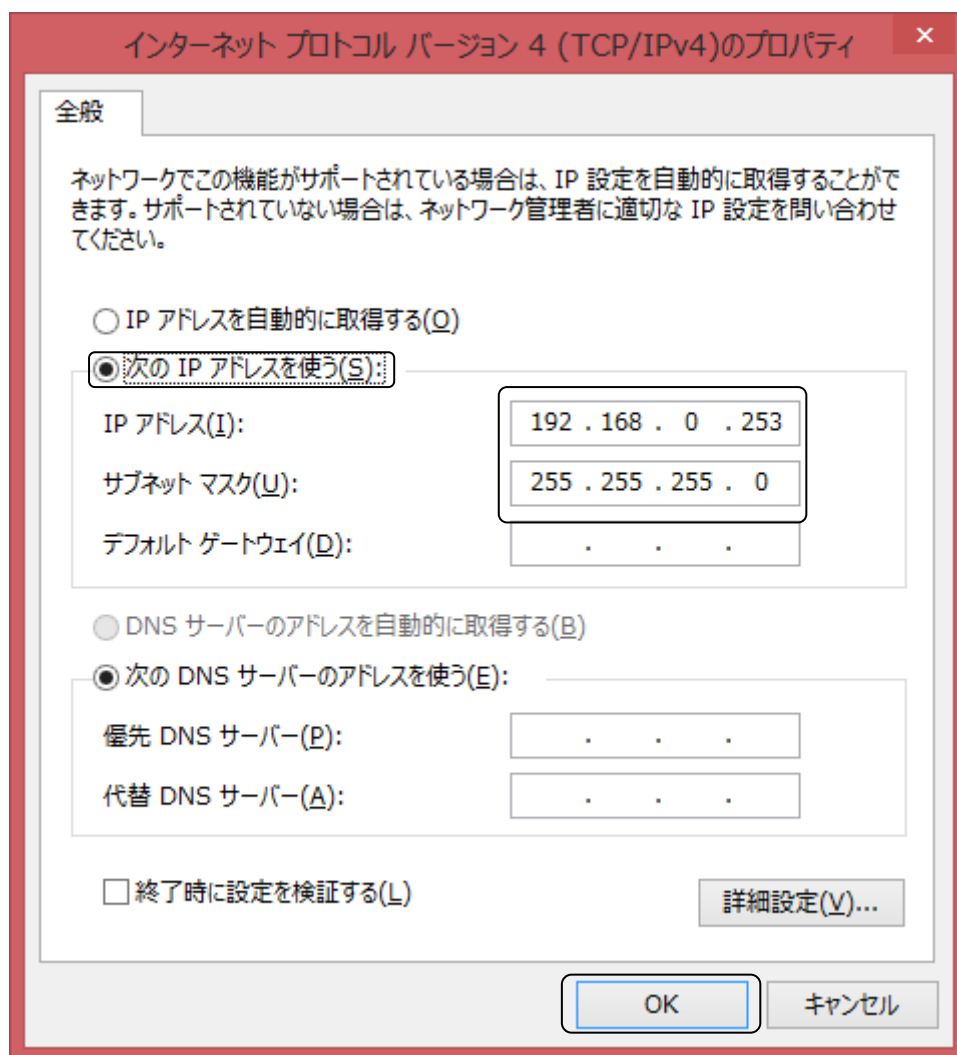
- 手順6 パソコンの IP アドレスを設定します。設定する IP アドレスとサブネットマスクは、本装置に設定されている IP アドレスとサブネットマスクと整合性をとるように設定してください。本装置の IP アドレスの初期値は、下記に記載します。

IP アドレス (初期値)

IP アドレス	192.168.0.3
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.0.1

例として、下記内容での設定を示します。

- ・ [次の IP アドレスを使う] を選択
- ・ IP アドレスに「192.168.0.10」を入力
- ・ サブネットマスクに「255.255.255.0」を入力
- ・ デフォルトゲートウェイは入力なし



インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4) のプロパティ

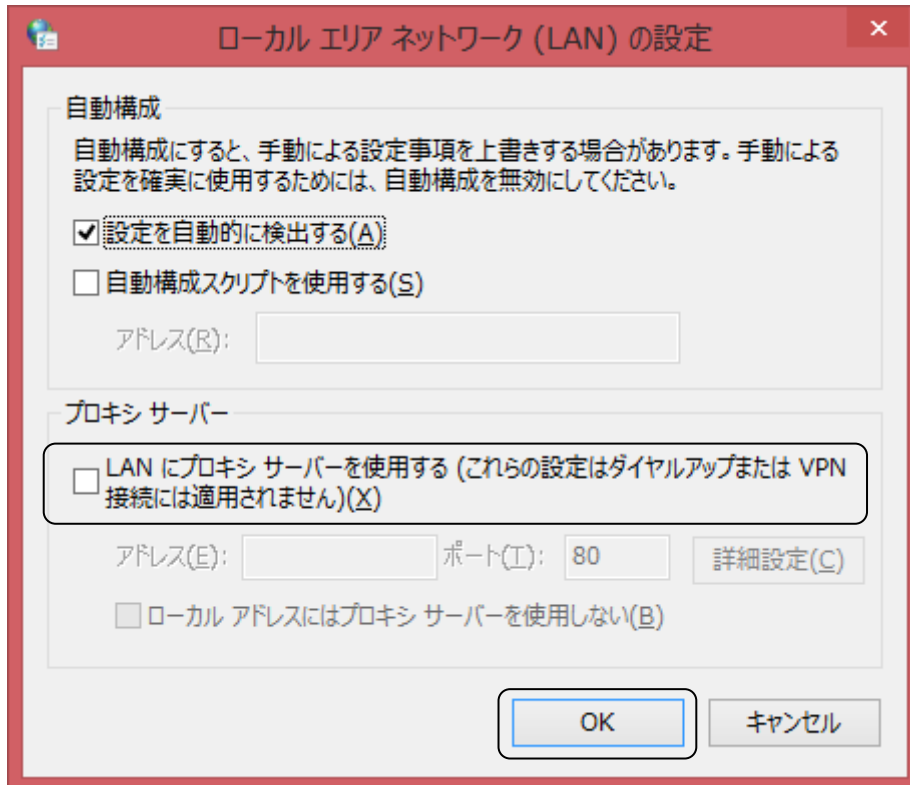
- 手順7 [OK] ボタンをクリックして、[インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4) のプロパティ] を閉じます。
- 手順8 [イーサネットのプロパティ] の [OK] ボタンをクリックして、[イーサネットのプロパティ] を閉じます。
- 手順9 [ネットワーク接続] の右上 [閉じる] ボタンをクリックして、設定を終了します。

◆WWW ブラウザの準備

設定の手順はパソコンの OS によって異なります。本書では、Microsoft® Windows® 8.1 を例に説明します。

設定手順

- 手順1 [コントロールパネル] ウィンドウを開き、[インターネットオプション] をクリックします。
[インターネットのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。
- 手順2 [接続] タブを選択し、[LAN の設定] ボタンをクリックします。
[ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定] ダイアログボックスが表示されます。
- 手順3 [LAN にプロキシサーバーを使用する] がチェックされていないことを確認します。



ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定

プロキシサーバーを利用する場合は、手順 4～手順 6 を実施し、本装置だけプロキシの対象外として設定してください。

- 手順4 [LAN にプロキシサーバーを使用する] をチェックし、[詳細設定] ボタンをクリックします。
[プロキシの設定] ダイアログボックスが表示されます。
- 手順5 例外的 [次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない] に本装置の IP アドレスを指定します。
- 手順6 [OK] ボタンをクリックして、[プロキシ設定] を閉じます。
- 手順7 [ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定] の [OK] ボタンをクリックして閉じます。
- 手順8 [インターネットのプロパティ] の [OK] ボタンをクリックして閉じます。

第4章 障害発生時の対処方法

障害発生時の対処方法について説明します。

4.1 障害発生時の対処方法

本装置に障害が発生した場合に、ユーザーが対処できる対処方法について説明します。

症状		点検	対処方法
ACT LED が点灯しない		Ethernet ケーブルが外れていませんか	PoE+給電時、PoE インジェクタの「DATA & POWER OUT」ポートに Ethernet ケーブルを接続してください (PoE 給電装置の給電ポートに接続してください)
		AC アダプタの DC IN プラグが外れていませんか	DC 入力ポートに DC IN プラグを接続してください
		AC アダプタ/PoE インジェクタと電源コードが外れていませんか	DC 電源/PoE インジェクタ本体と電源コードを正しく接続してください
通信ができない	データの送受信ができない	Ethernet ケーブルが外れていませんか	Ethernet ケーブルを正しく接続してください
		Ethernet ケーブルが断線していませんか	Ethernet ケーブルの通電を確認するか、ケーブルを変えて接続してください
		装置本体と端末の間に通信を阻害する障害物はありませんか	障害物を取り除くか、装置本体の設置場所を変えてください
	WiFi 端末から本装置を検索できない	SSID を隠蔽する設定になっていませんか	取扱説明書（設定編）に従い、SSID の隠蔽を解除するか、あらかじめ WiFi 端末に接続可能な設定をしてください
		装置本体に電源が供給されていますか	PoE 給電装置もしくは DC 電源に電源が入っていることを確認してください
その他	コンソールからログインできない	コンソールの通信ソフトの設定は正しいですか	取扱説明書（設定編）に従い、通信ソフトの設定を行ってください
		ログイン名、パスワードは正しいですか	正しいログイン名、パスワードにて再度ログインを行ってください
	本装置に設定が反映されない	設定を確認してください	取扱説明書（設定編）に従い、当該設定データ反映とリセットコマンドにより設定を反映させてください

4.2 セルフテストによるアラーム表示

本装置は起動時に自動的にセルフテストを行い、異常が検出されると本装置にある LED の表示により、検出された各種アラームを表示します。セルフテストにて異常が出た場合は、電源を OFF して、本装置をご購入になった販売窓口へご連絡ください。

セルフテストアラーム表示

アラーム種別	ACT	2.4G	5G	ETH
FROMチェック異常	赤点灯	消灯	消灯	緑点灯
RAM チェック異常	赤点灯	消灯	消灯	緑点灯
製造番号異常	赤点滅	消灯	消灯	緑点灯
MACアドレス異常	赤点滅	消灯	消灯	緑点灯

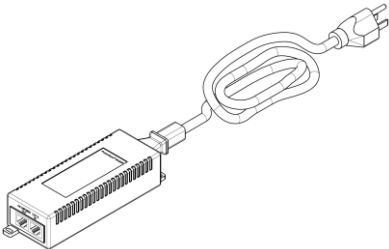
《留意点》

- ・ LED のテストとして、起動時に全 LED が点灯します。その後セルフテスト終了までは、全 LED は消灯したままになります。
正常終了時の LED 表示内容については、1.1 装置の各部名称と機能をご参照ください。
- ・ INIT スイッチを ON（初期化状態）で起動した場合は、ACT LED が点滅します。
- ・ ETH LED は Ethernet の接続状態（電源供給状態）に応じて、変化します。

オプション品（別売品）

◆ PoE インジェクタ

本装置をより便利にご利用いただくために、下記のオプション品を準備しております。
お買い求めについては、本装置をご購入になった販売窓口までご連絡ください。

品名 <品番>	イラスト	員数
PoE インジェクタ <EA-7HW00PWR1>	 A technical line drawing of a PoE injector. It consists of a rectangular metal housing with a multi-pin connector on the left side and a standard RJ45 Ethernet port on the right side. A cable is connected to the RJ45 port, loops around, and ends in a standard Ethernet plug.	1

保証とアフターサービス

(よくお読みください)

使い方・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご連絡ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名				
電話	()	—	
お買い上げ日		年	月	日

修理を依頼されるときは

「障害発生時の対処方法」でご確認のあと、直らないときは、電源（ブレーカ）を落として、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

- | | |
|---------|---------------|
| ● 製品名 | 業務用 Wi-Fi 基地局 |
| ● 品番 | EA-7HW02AP1 |
| ● 故障の状況 | できるだけ具体的に |

●保証期間中は、保証書の規定に従って修理（交換）いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理（交換）させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・調整・点検などの費用

部品代 本体および付属品代

出張料 技術者を派遣する費用


※補修用部品の保有期間 **7年**

当社は、本製品の修理（交換）用として本体および付属品を製造打ち切り後 7 年保有しています。

■使い方・お手入れ・修理などは、まずお買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** パナは ヨイフ 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）
※携帯電話・PHSからのご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは

<https://sec.panasonic.biz/it/cs/cntctus/>

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社

〒104-0061 東京都中央区銀座八丁目 21 番 1 号

© Panasonic System Solutions Japan Co., Ltd. 2015

M0215-1047
PYQP1021ZB/J1